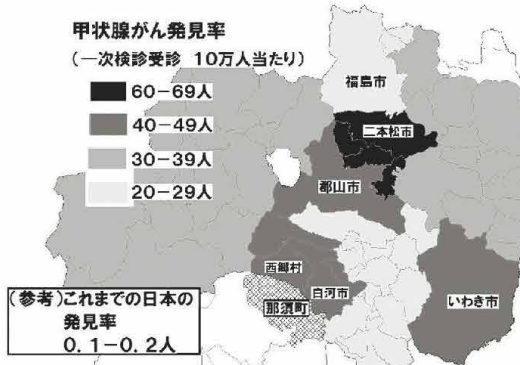




指定廃棄物の仮置場と構造

福島県地域別甲状腺がん発見率

福島県民調査検討委員会報告(平成26年12月31日現在)



福島県地域別甲状腺がん発見率

小中学校の定期検診で甲状腺がん検診は

竹原亜生

問 福島県では、子どもの甲状腺がんが異常に多発している。特に那須町に隣接する白河市などは、福島県内でも発生率が高い地域となっている。那須町の子どもを守るため、小中学校の定期検診で、全員の甲状腺がん検診をする考えは。

保健福祉課長 那須町では、健康への不安を取り除くため甲状腺エコー検査を実施している。今まで580人検査をしたが、甲状腺がんの報告は一人もいなかった。検査は、希望者を実施しており、ほかにもホールボディカウンタの内部被曝検査を実施している。

町 希望者に検査

問 将来起こりうる懸念に対し、子ども全員のデータを残していく必要はないのか。

町長 福島の場合は、冷静に検討したい。甲状腺検査は、希望者の無料検診で町民の安全性は確保できると考えている。

通学路除染を進めるには

問 通学路の除染が進んでいない理由は何か。

環境課長 除染物の置場が確保できなかったため。除染物を置く仮置場設置に住民の賛同が得られない。

問 除染物の仮置場を作らなければ、いつまで経っても通学路の除染はできない。現在、那須町に指定廃棄物の仮置場が6ヶ所

町 除染物の仮置場設置が必要

以上ある。ある指定廃棄物の仮置場を現地で計測したところ、放射線の遮蔽がきちんとされており、放射線量は周辺より低くなっている。設備も定期的に管理されている。町民の方に仮置場が安全に管理されていることを理解してもらうことが必要では。

副町長 同じ考えである。

しかし仮置場設置について理解してもらうのは、大変難しいのも確かである。町民の皆様にも現場に来ていただき説明会なども考えたい。

